

東建パブリニユース

2019年6月19日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

2019年6月11日 中部経済新聞 P. 3

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

ゴルフや日本刀でツアー企画

東建コーポの経営資源活用へ



新たなツアーの造成に力を入れる東通トラベル

東通トラベル

東建コーポレーション子会社で旅行代理店の東通トラベル(本社名古屋市中区栄、左右田善猛社長、電話052-243-8500)は、三重県のゴルフ場や日本刀など東建コーポが持つ経営資源を活用したツアーを重点投入する。インバウンドの増加でゴルフ需要の拡大が見込めると判断した。また、昨今、歴史探訪ツアーも人気が高まっており、新たなツアーを造成し需要を取り込む。(山田悠)

インバウンド需要取り込む

他社との差別化を図るため、ゴルフと歴史探訪をテーマにしたツアーの立案に注力する。ゴルフ向けは夏

以降、東建多度カントリークラブ・名古屋(桑名市)を訪れる1泊2日のツアーを発売する。

多度カントリーは、例年プロゴルフの男子ツアー国内開幕戦が開催され、日本刀や甲冑(かっちゅう)、火縄銃など、価値の高い美術品も展示している。

ツアーのターゲットは、日本人だけでなく、インバウンドも想定する。今年ラグビーのワールドカップ、来年は東京五輪が開催され、インバウンドの増加が予想される。ゴルフのウェブサイトの海外版などにツアーを掲載し、アピールする。

一方、歴史探訪をテーマにしたツアーは、多度カントリーや伊勢神宮、名古屋城、国宝犬山城などの史跡名所を組み合わせる予

定。

来年6月、東建コーポが名古屋市中区栄に日本最大級の刀剣博物館「名古屋刀剣ワールド」を開館するのに合わせ、関連ツアーも計画する。刀剣ワールドでは歴史的な資料として貴重な刀剣や甲冑、美術品などを多数展示。デジタル技術を活用した演出も予定している。

東通トラベルの担当者は「歴史、刀、ゴルフなど、独自企画のツアーで存在感を高めたい」と話している。同社は1994年の設立。集客拡大を狙いにこのほど、本店を名古屋千種区から東建コーポが名古屋市中区栄に建てた高級賃貸マンション「栄タワーヒルズ」の1階に移転した。